

にあらざるか。

此の點は更に細論を要すべきである。殊に個別の因果律一般と其の一種としての史的因果律との關係を見るに於て時間概念は其の重要な役目を演ずべきであらう。さりとて他方に自然科學的の因果法則に於ては時間概念は一方に於て其の介在を要すること勿論なりとせらると同時に、他方に於ては歴史の意義に於ける時間概念は決して其の要素にはあらずともいひ得る。此くして問題は之を一般的に言ひ表はせば因果態一般と時間概念との關係如何といふ事になる。恐く此の點の究明が史學認識論に於て更に一新生面を開くべき次の壇場ではなからうか。

以上余は田邊博士に對して答へんと欲する所を盡した。之に對して更に示教を惜まるゝ事なくんば幸ひである。終りに臨み博士に對し重ねて深厚の敬意を表する。(七、九、二拾)

彙報

彙報

哲學倫理學會

哲學倫理學會は十月六日例年の如く遠足會を催し、奈良に遊びて雨中の景を賞したり。西田、朝永、藤井三教授も之れに加はれり。

心理學讀書會

大正七年十月三日午後三時半より、學生集會所に於て文學士福富一郎氏渡滿送別會、新入會員歡會を開き左の講演の後、晚餐を共にせり。

一、アットン Human Psychology に就きて

文學士 岩井勝二 郎君

二、初めて反應法を考案して精神の客觀的時間を測定したる
ドンドルスの實驗

文學士 檜崎淺太郎君

教育學會

十月十日午後六時より學生集會所に於て例會を開き、左の講演あり。

米國の近狀 エエル大學助教授 朝河貫一君

社會讀書會

九月十七日午後六時より學生集會所に於て守屋學士送別を兼ね

例會を開く。米田講師以下會員十名出席、晚餐後左の講演あり。

文化發展の諸學說

銅直學士

亞米利加社會學雜誌の最近號に現れたる Hillwood 氏論文の紹介なり。即ち氏は文化發展と社會進化の概念を區別するの要ありとし、社會は動物猶之を有すれども文化は獨り人類特有の産物なるを以つて文化發展の理論は必ずや人類特有の事實に求むべきものにして、其特質は即ち腦髓の發達と言語によるの相互交通を管む社會生活これなりとなし、從來の文化發展説を地理的環境説心理的模倣説、環境習熟説の三部類に大別し、此等の文化發展説の不完全なるを指摘して氏の所謂文化の社會心理説なるものを述べ、更に之に經濟現象宗教現象等に見て其の所説の正確なるを立證せんとせるものなり。

美學美術史研究會

美學美術史研究會は、九月十七日午後六時より學生集會所に於て、晚餐會を兼ねたる例會を開き、席上、文學士福井利吉郎君の嚴島平家納經に關する談話あり、十時過ぎ散會したり。

岡本文學士遺稿出版 今春、文學士岡本春彦君が、思ひも寄らず病の爲に長逝するや、師友悉く之れを痛惜し、吾等同人も亦、君の遺稿『神祇主義に就て』と『シェリングの象徴思想』の一節を

本誌に掲げて、若くして夭折したる異才の片影を偲んだことであるが、故人の如き人が心血を濺いで置いた遺稿を永く篋底に埋め置いてはならないから、西田朝永兩博士、厨川白村氏、矢野禾積、宮城信雅兩學士等の盡力によつて、其の遺稿中より、内容と量とに於て、一卷として一般讀書界へ發表するに最も適當なる『哲人ブルノー』の一篇を撰んで公刊し、哲學上の主著『シェリングの象徴思想』は、之れに詩論『詩歌の神髓』、『神祇主義に就て』の二篇と、詩歌と、翻譯二篇とを加へ輯めて一卷となし、友人、知人、その他有志者の爲に頒たれることとなり、『哲人ブルノー』は已に、京都市丸太町寺町東入弘文堂書房より出版せられた。次號に於て紹介せられる筈であるが、四六版、麻布表紙、ブルノー肖像入、定價一圓二十錢である。『シェリングの象徴思想』近く出來するであらうが、豫約よりは餘分に印刷する筈であるから、希望の人は、宮城、矢野兩氏の中に申込みは賞費(約二圓)を以て頒たれるであらう。

新著紹介

佛典の解説

常盤 大 定 著

本書は大藏經中より特に日本文明に重要な關係を有する經典